

2026年 6月 3日

産婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 進行子宮頸癌におけるペムブロリズマブを併用した 同時化学放射線療法に関する既存情報を用いる研究」 への協力をお願い

産婦人科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2025年1月1日～2026年3月31日の間に、当科において、進行子宮頸癌に対する化学放射線療法（シスプラチン+ペムブロリズマブ）を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2028年 3月 31日

研究目的・利用方法：

進行子宮頸癌は、局所進行例において近年、免疫チェックポイント阻害薬であるペムブロリズマブ（Pembrolizumab）を同時化学放射線療法（CCRT）に併用する治療法が報告されており、治療効果の向上が期待されています。

本研究では、当院において進行子宮頸癌に対しCCRT+ペムブロリズマブ併用療法を施行した症例を対象に、有効性および安全性について後ろ向きに検討することを目的とします。

研究に用いる情報の項目：

以下の項目について診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

年齢、PS、FIGO stage、組織型、治療内容（放射線量、CDDP投与、Pem投与回数）、奏効評価（RECIST）、PFS、OS、有害事象（CTCAE分類）、治療中断・中止理由

血液データ：血球数、肝機能、腎機能、炎症反応、CA125、CA19-9、SCC

画像データ：CT・MRI・PET-CT

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2026年6月5日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来に

わたくし当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科寄附講座 地域周産期医学講座

氏名：松原 佳奈

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科寄附講座 地域周産期医学講座

氏名：松原 佳奈

電話番号：058-230-6345

氏名：松原 佳奈

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp